

配置比較表（様式）

【資料2】

評価基準【優れている：2点 普通：1点 劣っている：0点】

評価項目 【配点】	設問	現在地に主として 庁舎を整備する案	立駐・労福敷地に主として 庁舎を整備する案	笹林公園の一部敷地に主として庁舎を整備する案				
		A案 現在地（新館等敷地）	B案 立駐敷地+労福敷地	笹林公園一体整備		笹林公園分離整備		
				C案 立駐敷地+労福敷地+笹林公園	D案 立駐敷地+労福敷地+笹林公園	E案 立駐敷地+労福敷地+笹林公園		
利便性 (連携・ アクセシビ リティ) 【8】	①各庁舎機能が分散せず、ひと固まりのボリュームで、初めての来庁者が迷わない配置を計画しやすいか。 ②駅からの歩行者のアクセスは良好か。 ③車両による主要道路からのアクセスは良好か。 (スクールゾーン、速度規制、裏側道路) ④別棟庁舎とのつながりは良好か。							
景観性 【6】	①大通りから視認性が良い新庁舎を計画しやすいか。 ②本館との相乗効果によるシンボル性の向上を計画しやすいか。 ③緑地帯（新設広場、笹林公園）との繋がり形成し、豊かな環境を計画しやすいか。							
公共性 【18】	①工事中に、継続して笹林公園を利用できるか。 ②完成後、現況と変わらない運動施設として笹林公園を利用できるか。 ③笹林公園又は新設広場との一体的なイベント開催を計画しやすいか。 ④笹林公園と新庁舎との一体的な活用ができるか。 ⑤本館との将来的なソフト面での相乗効果が期待できる位置関係か。 ⑥来訪者が心地よく滞在できる空間構成を計画しやすいか。 ⑦市民のための居場所づくりを計画しやすいか。 ⑧駐車場出入口の滞留長を確保でき、渋滞を緩和できる計画か。 ⑨工事期間中も来庁者が現況の利用勝手で庁舎利用を行うことができるか。							
環境性 【8】	①周辺住居への日影の影響が少ない配置を計画しやすいか。 ②住居エリアへのプライバシーに配慮した配置計画を計画しやすいか。 ③建物の熱負荷を低減できる建物長辺の東西軸配置が可能か。 ④外皮（外壁長さ、高さ）が少なく、省エネ性能を向上させる配置計画がしやすいか。							
防災性 【6】	①高潮対策に対して経済的な断面構成を計画しやすいか。 ②災害時に、新庁舎と防災広場（笹林公園）が連携しやすい配置を計画しやすいか。 ③工事期間中も現況防災対策拠点としての機能を現況より損なうことがないか。							
コスト 【2】	【コスト内訳※】①新庁舎整備費：121.27億円、②立体駐車場整備費：7.17億円、③新館等解体費：4.82億円、④既存立駐解体費：0.89億円、⑤仮庁舎新設費：13.54億円、⑥仮移転費：0.61億円、⑦本移転費：0.61億円、⑧外構整備費(公園整備費含む)：1億円～3.6億円	①+③+⑤+⑥+⑦+⑧ 概算工事金額計 141.8億円	①+②+③+④+⑦+⑧ 概算工事金額計 135.7億円	①+②+③+④+⑦+⑧ 概算工事金額計 138.3億円	①+③+⑦+⑧ 概算工事金額計 130.3億円	①+②+③+④+⑦+⑧ 概算工事金額計 138.3億円		
スケジュール 【2】		新庁舎供用開始：R13 事業完了：R13	新庁舎供用開始：R13 事業完了：R14	新庁舎供用開始：R14 事業完了：R15	新庁舎供用開始：R14 事業完了：R15	新庁舎供用開始：R14 事業完了：R15	新庁舎供用開始：R14 事業完了：R15	

※コスト内訳は新庁舎整備にかかる費用を積算したものであり、什器購入や既存庁舎改修費などを含みません。

※この表は、審議においてどの項目を重視するか検討するための参考資料です。点数の合計により、新庁舎の敷地を決定するものではありません。

配置比較表(採点結果)

【資料2】

評価基準【優れている：2点 普通：1点 劣っている：0点】

評価項目 【配点】	設問	現在地に主として 庁舎を整備する案		立駐・労福敷地に主として 庁舎を整備する案		笹林公園の一部敷地に主として庁舎を整備する案					
		A案		B案		C案		D案		E案	
		現在地（新館等敷地）		立駐敷地+労福敷地		立駐敷地+労福敷地+笹林公園		立駐敷地+労福敷地+笹林公園		立駐敷地+労福敷地+笹林公園	
利便性 (連携・ アクセシビ リティ) 【8】	①各庁舎機能が分散せず、ひと固まりのボリュームで、初めての来庁者が迷わない配置を計画しやすいか。	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
	②駅からの歩行者のアクセスは良好か。	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
	③車両による主要道路からのアクセスは良好か。 (スクールゾーン、速度規制、裏側道路)	2	2	1	2	1	2	1	2	1	2
	④別棟庁舎とのつながりは良好か。	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
景観性 【6】	①大通りから視認性が良い新庁舎を計画しやすいか。	1	2	1	1	1	1	1	0	1	1
	②本館との相乗効果によるシンボル性の向上を計画しやすいか。	1	2	1	0	1	0	1	0	1	1
	③緑地帯（新設広場、笹林公園）との繋がりを形成し、豊かな環境を計画しやすいか。	1	0	2	2	2	2	2	1	2	2
公共性 【18】	①工事中に、継続して笹林公園を利用できるか。	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
	②完成後、現況と変わらない運動施設として笹林公園を利用できるか。	2	2	2	2	1	0	1	1	1	0
	③笹林公園又は新設広場との一体的なイベント開催を計画しやすいか。	0	0	1	2	1	2	1	1	1	2
	④笹林公園と新庁舎との一体的な活用ができるか。	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2
	⑤本館との将来的なソフト面での相乗効果が期待できる位置関係か。	2	2	1	0	1	0	1	1	1	2
	⑥来訪者が心地よく滞在できる空間構成を計画しやすいか。	0	1	2	2	2	2	2	2	2	2
	⑦市民のための居場所づくりを計画しやすいか。	0	0	2	1	2	1	2	2	2	2
	⑧駐車場出入口の滞留長を確保できており、渋滞を緩和できる計画か。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	⑨工事期間中も来庁者が現況の利用勝手で庁舎利用を行うことができるか。	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2
環境性 【8】	①周辺住居への日影の影響が少ない配置を計画しやすいか。	1	1	1	1	1	2	1	0	1	2
	②住居エリアへのプライバシーに配慮した配置計画を計画しやすいか。	1	2	1	1	1	2	1	1	1	2
	③建物の熱負荷を低減できる建物長辺の東西軸配置が可能か。	1	0	1	0	1	1	1	1	1	1
	④外皮（外壁長さ、高さ）が少なく、省エネ性能を向上させる配置計画がしやすいか。	1	2	1	1	1	2	1	2	1	2
防災性 【6】	①高潮対策に対して経済的な断面構成を計画しやすいか。	1	1	1	1	1	2	1	2	1	2
	②災害時に、新庁舎と防災広場（笹林公園）が連携しやすい配置を計画しやすいか。	0	0	2	2	2	2	2	2	2	2
	③工事期間中も現況防災対策拠点としての機能を現況より損なうことがないか。	0	1	1	2	1	2	1	2	1	2
コスト 【2】		0	0	1	1	1	1	2	2	1	1
スケジュール 【2】		2	2	1	1	0	0	0	0	0	0

※この表は、審議においてどの項目を重視するか検討するための参考資料です。点数の合計により、新庁舎の敷地を決定するものではありません。